

利府の新しい交流拠点

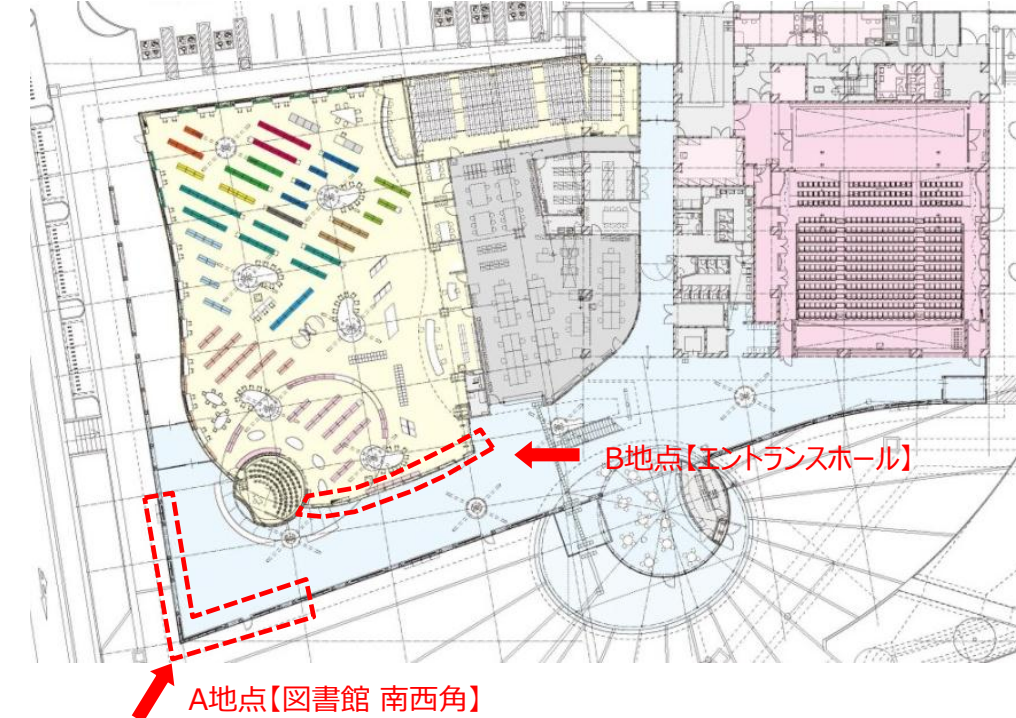
利府町文化交流センター建築工事 建築だより 第5号 (令和2年2月発行)

利府町文化交流センターは、町の新しいブランド力になる豊かな文化を育む交流の拠点として整備を推進しております。完成まで楽しみにお待ちください。



作成：利府町役場 文化複合施設推進室
株式会社佐藤総合計画
五洋・小坂橋特定建設工事共同企業体

1階平面図（写真撮影位置）



1. はじめに

2月に入り気温が低く冬らしい日々が続いております。工事現場では、基礎工事が引き続き進行中です。一部基礎工事が完了した部分もあり、なんとなく建物の大きさがみえてまいりました。今回はコンクリート打設の工程について少し詳しくご紹介したいと思います。建物の大切な基礎となる部分です。現場では様々な検査を経て工事が進んでいます。ぜひご覧ください。

2. 工事の様子（コンクリート打設の流れ）

※打設 → コンクリートを流し込むこと



コンクリートを積んだミキサー車が工事現場に到着しました。



待機していたコンクリートポンプ車にコンクリートを移動します。



コンクリートを移動したら、コンクリートポンプ車のアームを…。



伸ばしてコンクリートを打設場所まで届けます。



準備が整ったらコンクリートを流し込みます。



黒いコードの先には振動機が付いています。流したコンクリートが分離せず、隅々に行き渡るようにする装置です。



A地点【図書館 南西角】 基礎が完成しました。



B地点【エントランスホール】 青く見えるのは断熱材です。

基礎の特徴的なカーブは図書館とエントランスホールの境目の壁です。上記の平面図をご覧ください。

3. 場内全景写真



5. 1月の中間検査の様子



1月9日 図書館部分の検査を行いました。



1月16日 多目的ホール部分の検査を行いました。

4. 今後のスケジュール

2月の主な工事予定

2月上旬～2月下旬	基礎工事（鉄筋組立、コンクリート打設）、床の土間コンクリート打設
※ 2月も基礎工事を建物のエリアごとに順番に工事していきます。 併せて床の土間コンクリートの打設もスタートしていきます。（～3月下旬まで）	

5. 現場コラム

基礎のコンクリート工事が終盤を迎えています。（3月上旬に完了予定）
今回はコンクリート打設時に現場で行う様々なコンクリートの検査について御紹介いたします。

1. 検査準備



検査を待つ器具類。



到着したてのコンクリートの一部を試験用に採取する。

2. 温度測定



コンクリートの温度を測定する。
※冬場は10～20℃以内とする。

3. スランプ試験 ※1



専用の筒にコンクリート充填し、引き上げる。



※1
下がった高さと幅を見て、コンクリートの流動性を確認します。工事のしやすさを図る指標になります。また、軟らかすぎるコンクリートは強度に影響しますので、その確認も行います。

3. 空気量測定 ※2



専用の容器にコンクリート充填し、密閉する。



※2
コンクリート内の空気量を測定します。空気量が多いと作業性が向上しますが、多すぎると強度に影響しますので、その確認も行います。

検査は上記の他に試験体を作り、材齢7日目と28日目に強度を確認する試験を行います。これらの検査によって現場に納入されたコンクリートが基準に適合していることを確認します。工事中は様々な検査を実施し建物の品質確保に努めています。